



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2022. 3. 22  
第 2048 回例会



# Weekly BULLETIN

水と衛生月間

会長 須永 恵子 幹事 田口 精二

## 本日の予定 [Zoom 例会]

職業奉仕リレースピーチ / 1人 5分以内 / 一週 5人

タイムキーパー 井上 学 職業奉仕委員長

♪ロータリーソング♪

四つのテスト

## 会長の時間

## 2021-22年度会長 須永 恵子



令和4年3月8日ご逝去された白戸里美会員を偲んで

白戸里美さん、里美さんの突然の訃報を聞き、信じられませんでした。今でも驚きと悲しみでいっぱいです。里美さんのような素晴らしい人を失ってしま

まったことは、ロータリークラブにとって、とても残念でなりません。

里美さんは、2016年、私が幹事の時の7月19日に我がクラブに入会して下さいましたね。それから6年間に渡り、共にロータリー活動をしてまいりました。

ガバナー公式訪問の時には、お父様の白戸仲久ガバナーよりロータリーバッジや花束贈呈され、お茶目な可愛い笑顔をされていたことを思い出します。いつも、ロータリー活動に積極的に参加して下さいましたね。

佐谷・大高年度は、国際ロータリーの活動を支援する為の重要な事業であるロータリー財団委員長として手腕を発揮下さいました。

2018-19古谷・小森谷年度では、社会奉仕委員長として継続事業はもちろん、新規事業として「古民家をコミュニティへ」古民家山川邸に地区補助金事業として「グリーンハウス」を贈呈。

そして、2019-20江口・松本年度には、職業奉仕委員長として、ロータリー活動の重要な親睦を重視した企画「午後からゆっくり～Afternoon 職場見学」古河市の株式会社富田製作所と小山市の西堀酒造株式会社を見学。参加者

の皆様はお酒の試飲が出来てとても喜び、楽しんでいましたね。

また、この年から2020-21石川・岡村年度の2年間は社会奉仕地区委員として、今年度2021-22須永・田口年度は、重要なクラブ会計として。また、第2820地区社会奉仕地区総括委員長として、世界を取り巻く環境保全事業ロータリー奉仕デー2021茨城海岸美化プロジェクト等、我がクラブを代表して尽力して下さいました。感謝に堪えません。

里美さんの残された数々の功績はロータリーの輝く1ページとして残ることでしょう。

イニシエーションスピーチでは、里美さんは、「動物占い」で「さる」と判定されましたね。「さる」の性格はボス猿を頂点として上下関係を重んじます。堅苦しいのは苦手といいつつ、礼儀や作法を重んじる律儀な人、根が正直で真面目、誠実さが「さる」の魅力です。平和主義者で人と争うことも、もめごと嫌いな…。里美さんは本当にその通りの人でした。社会奉仕委員長をされた時に「味わい尽くし、お腹いっぱいのごさいます。」とおっしゃいましたね。里美さんがロータリアンとして精一杯生きてこられた姿勢を私たちは決して忘れません。里美さん、ありがとうございました。

突然のことに、ご遺族の方々の悲しみは、いかにばかりかとお察し申し上げます。

里美さん、心残りではございますが、これでお別れいたします。

どうぞ安らかにお眠りください。

故、白戸里美さんの御霊を前に謹んで哀悼の言葉を述べさせていただきます。

一月には、普段と変わらないユーモアを交えたメールをかわしたので、順調に回復していることと一安心しておりましたが、三月九日にロータリーの師匠である山崎清司パストガバナーから突然の訃報を受けたときには、ただ呆然として耳を疑うばかりで言葉もありませんでした。

いそぎ駆けつけると、ガバナーの大先輩であるご尊父様の白戸仲久さんが迎えてくれ、里美さんの枕元でお話をしながら、安らかな里美さんの顔を拝見すると、いまにも里美さんが話に加わってきそうでした。

昨年十二月頃、体に異変を感じ、今年にはいつてからは、療養されていることを伺っていましたが、現代医学の粋を尽くしたにもかかわらず、幽明境を異にした事は、ご家族の皆様を何と慰めて良いか、言葉もありません。

里美さんには、私がガバナーに就任する事になり活動の準備を始めた頃、一大事業の野望を打ち明けました。それは、世界中のロータリーを取り纏め、市民と共に海岸を清掃しながら将来世代に残すべき地球環境を考えるイベントを開催するというものでした。

里美さんは、近年の気候変動関連災害を危惧していたとのことで、この計画に賛同してくれました。そして国際ロータリー第二八二〇地区内五十五クラブ約二千人のロータリアンを取り纏める社会奉仕総括委員長への就任をお願いしたところ、快く引き受けてくれたのです。また、里美さんは、この事業を「茨城海岸美化プロジェクト」と自ら命名し、実行計画を練り上げ、それから約一年に亘り、アドバイザーの佐川真治さんと二人三脚で、粉骨砕身プロジェクトの成功に向けて、準備をしてくれました。

会社の取締役という重責のなかで、奉仕活動の時間を作るのは大変です。貴重な休日まで返上して、超我の奉仕を実践された里美さんには感謝しきれない気持ちでいっぱいです。その間、私は一度もあなたから愚痴や泣き言を聞いたことがありませんでした。そしてあなたはいつも「ガバナーは激務ですね、体にだけは気をつけてくださいね」と励ましてくれましたね。

このような、里美さんの他人を思いやる心、リーダーとしての責任感と実行力なしには、プロジェクトの成功はありませんでした。おそらく、茨城県議会議員や古河市長、国際ロータリーガバナーを歴任されたお父さんの背中をみながら身につけたのでしょう、大舞台での胆力と話術、そして皆に好かれる明るい性格、場を和ませる

ユーモアと、周りの者に対するきめ細かな気配りなど、私に真似のできることは一つもありません。

大洗海岸サンビーチのステージに里美さんが登り、環境保全について熱く語られたスピーチは、会場を埋め尽くした参加者の心を驚づかみにしました。

また、シェカール・メータ国際ロータリー会長も参加した、世界三十ヶ国をインターネットで繋ぎ、それぞれの国の環境問題について議論した、グローバルフォーラムでは、多言語が飛び交う中、立派に司会を務められ、国際レベルのイベントを見事成功に導いたことは、国際ロータリー第二八二〇地区のマイルストーンとして深く刻まれました。

今の日本は、お父さんの白戸仲久さんたち諸先輩方のご努力により、豊かになりました。しかしながら、現状はコロナ禍の不安だけでなく、安全保障を含め多くの国民が世界の中の日本の先行きを心配しております。

このような時こそ、里美さんのような、いつも人のために役にたとうとする、奉仕の精神に燃えた、若いロータリアンのリーダーシップが、地域の活力、世界の安寧に必要な時ではありますが、こんなに早くお別れすることは誠に残念でなりません。

ただ私にはしっかりと希望の光も見えております。それは、里美さんのお子様たちが健やかに成長を遂げていることです。本日立派に喪主を務められている、晋司さんは念願の東京大学に合格されました。どうぞ称えてあげてください。そしていつも、心の中で傍にいてあげてください。

ときには真剣な奉仕の議論を交わし、冗談を楽しみ、いつもポジティブでただ前を向いて活動をともししてくれたことなど、思い出は走馬灯のようかけめぐり、悲しみがこみ上げてくるばかりですので、このへんでお別れにします。どうぞこれからは、天井人として深い慈愛の心で皆を見守ってください。

さようなら。

令和四年三月十八日  
国際ロータリー第二八二〇地区 ガバナー  
新井 和雄





## 黙禱

3月8日にご逝去された白戸里美会員のご冥福を祈り、黙禱を捧げます。



# 前回例会報告（第 2047 回）2022 年 3 月 15 日 Zoom 例会

進行



小森谷 久美 会員

点鐘



須永 恵子 会長

オーディオ担当



鶴岡 学 会員

♪ ロータリーソング ♪ 我らの生業、古河東ロータリークラブソング

## 委員会報告

出席委員会 井上 学 委員

コロナ禍でもあり、出席率は 100%といたします。  
今現在、19 名の方が Web 参加されております。



### 出席状況記録

第 2047 回例会 (3/15)		第 2045 回例会 (3/1) 前々回	
名誉会員を除く会員数	55 名	名誉会員を除く会員数	55 名
出席計算に用いた会員数	19 名	出席計算に用いた会員数	30 名
出席またはMake Up 会員数	19 名	出席またはMake Up 会員数	23 名
出席率	100%	出席率	76.67%

## 幹事報告

田口 精二 幹事 (代読 小森谷 久美 会員)

### 幹事報告

#### 1. 会員へ郵送書類

- ・会長のメッセージ
- ・ロータリーの友 3 月号
- ・月信 3 月号
- ・抜萃のつづり その 81
- ・ガバナーの公式訪問時の集合写真
- ・第 4 分区 IM プログラム



2. 4 月 10 日 (日) 第 4 分区 IM 記念事業 利根川河川清掃の件  
欠席の方は幹事までご連絡ください。

3. 3 月 30 日 (水) 古河市市政功労者・寄附者への表彰式  
古河公方公園大賀ハスの看板設置に対して感謝状をいただくことになりました。

 福田 優子 会員

1. ロータリーに入会して

私は、古河東ロータリークラブに入会して7年目になります。はじめは何もわかりませんでした。たったひとりでポツンとしてい

る私に、先輩の皆さんは気軽に声をかけてくださいました。「このクラブは温かいな」と思いました。

2. 職業倫理として「四つのテスト」

さて、「四つのテスト」ですが、職業上の倫理道徳を端的に現していると思います。私たちの職業奉仕は、日々の経済活動です。経済活動は、自分さえ儲ければよいとなりがちですが、ロータリーの「四つのテスト」に自分の言行を照らし合わせることが出来るのは、ロータリアンとしての『幸せ』の一つではないかと

思います。高い倫理感で仕事を遂行していけば、結果として、利益を得ることになります。言い換えれば一番早く儲けられるという事だと思います。「四つのテスト」を日々の経済活動において常に忘れることなく実践したいと思います。

3. 職業奉仕について

ちなみに、私の仕事は事務です。経理、人事労務など、総務関係の仕事をしています。社長さんや営業の方から見て、事務は地味で存在を感じる事が少ないかもしれません。でも、事務という土台がなければ、その上に何を乗せても崩れてしまいます。企業の足腰です。ですから、私は、自分を「事務屋」だと思っています。少しそれますが、この仕事に導いてくれた父に感謝しています。

最後に、職業奉仕は人間として生きる基本だと思います。なぜなら、収入、お金がなければ何もできないからです。職業を通して社会の役に立つ人間となり、地域、国家、世界にまで広がるロータリーの活動ができるのも、職業奉仕をしっかりと毎日怠りなくしている結果だと思います。これからも次代にバトンを渡すまで仕事を味わいながらしていきます。

4. まとめ


人と人がふれあうとき（経済活動=職業奉仕）に大切なこと。

これは、まさに、最初にもうしあげた古河東ロータリークラブの持つ「温かさ」の中にあると思います。

「四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか」を、会員同士常に心掛けた結果だと思います。私も一会員として、小さなことを実践していこうと思います。





 三田 浩市 会員

私の職業は、幼児教育をしている幼稚園であります。今まで、幼稚園は文部科学省管轄の下、保育園は厚生労働省の管轄の下で行政が進められていたわけでありました。

しかし最近、地域によって、幼稚園には、空き教室がポツポツと見え始めてきました。一方保育園には入所できずに困っている。そういった不公平な状況が生まれてきていました。

そのため、国としては、文部科学省、厚生労働省の枠を超えて、幼児教育施設として、認定こども園という制度を創設いたしました。それによって、幼稚園と保育園との不公平感を打開することとなりました。

この制度は、最初入園した時点、施設ですね、それから小学校に入学するまで、一貫した教育が受けられるというものです。

私どもの幼稚園も、認定こども園として、認可をいただき、現在、ささやかながら、頑張っ

ているところです。

もちろん、ロータリーの「四つのテスト」これについても忠実に実行してまいりました。

そういうことが幼稚園の厚生に役立っているのではないかと感じております。

これからも、この「四つのテスト」を中心に、前向きに努力をして行きたい。そして、地域の皆さんに奉仕をして行きたいと考えております。

自分なりに日頃考えていることは、社会から享受を受けるだけでなく、ロータリーを通して社会に貢献しようというようなことを基本的に考えております。これからも、地域に愛される幼稚園として頑張っていきたいと考えております。



 森 敏夫 会員

50年間続けることが出来た職業について



私は、高校卒業後、学生時代からの夢を持ち、サラリーマンとして、スタートいたしました。しかし、小さい時から親から


よく言われておりました「我慢することについて、3日・3ヶ月・3年が必要である」と。その言葉どおり、就職して3年目に現実となってしまいました。(人間関係・仕事への不安等があり退職しました。)

しかし、退職したからには、自立してお店を持つこと、何があっても会社勤めには二度と戻らない、という信念を持って転職しました。

料理を作ることが好きで、また、駅西口に住居がありましたので、お店を持つと考え、4年間の修行経験を積んで、25歳でラーメン店を開業いたしました。

家に帰ると(状況は把握しておりませんが)、ちょうどその時期に、近くに古河で初めてのエスカレーターのあるショッピングセンター(伊勢甚百貨店)がオープンし、また、現在のジョイパティオの場所にスーパーマーケット「マスタ」があり、当時の駅前商店街は賑わいました。運がよかったのかもしれませんが。

しかし、3年後に郊外にイトーヨーカドーが出店し、様子が一変しました。

 森 敏夫 会員

また、その後、古河駅高架事業等が重なり、駅前商店街が衰退し、危機的状況となりました。私の力だけでは困難な状態でありましたが、家族・従業員の協力、お客さんの励ましにより、立ち上がることが出来ました。

40代で青年会議所を、50代で商工会議所青年部活動を経験し、勉強させていただきました。

その後、深夜営業へ展開、また、駅前再開発事業により、長男も嫁とともに、お店を継ぐことになり、後を託すことが出来ました。


56歳でロータリークラブに入会させていただき、3年後に幹事の役職を受けることになりましたが、当時、連絡等はファックスでおこなっておりました。パソコンを利用した連絡等に代わり、もちろんパソコンもなく、また使用したこともなく途方にくれ、パソコン教室に通い勉強させていただきました、何とか幹事職

を乗り越えることができました。

これによって、自分の職業にも利用する事ができ、大変役立ちました。ロータリークラブに入会してたくさんのお客さんを経験させていただきました。この幹事職を経験させていただいたおかげで、パソコンを利用してのお客さんへの対応、2年前からは、コロナ感染症の対応による申請書提出等に大変役立ち、今は感謝しかありません。

50年間には、いろいろな出会いがあり、また出来事がありました。周りの皆さんに支えて頂き、77歳まで健康で仕事、趣味と全うできていることは、家族（特に女房の力）・従業員の皆さん・地域の皆さんのおかげです。

せがれも2代目として頑張っておりますので、今後とも私共々よろしくお願ひ申し上げます。話が整いませんが、私の職業体験談とさせていただきます。

 井上 学 会員

僕がロータリーに入った時に、白戸里美さんが社会奉仕委員長で「古民家プロジェクト」を担当されていました。これ凄いな、なぜあんなことができるのだろう、と本当に度肝を抜かれました。仕事をされながらこんなこともできるのだ、と凄く感動し、白戸さんに「どうして、あのようなことができたのですか？」と尋ねますと、福島の方々や色々な人たちが来ていて、白戸さん曰く、そのような人たちと出


会った後に、繋がっていたのだと話されていました。そんな言葉に感動したというか、私には、自分自身にはそういったものがなく、なにか奉仕活動をしたら、それで終わりみたいな感じでしたので、そのあとも繋がっていたのだというお人柄にも感銘を受けました。これからもたくさんのお客さんを教えていただきたかったのに、残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。



私は、ガラスのメーカーの営業をしていました。そのころは、酒造メーカーに

頭を下げ、大口の発注をいただき、社内に戻り、工場に大口の数量を短期間で作ってもらうために頭を下げるといった、社外にも社内にも営業をしていました。

その後、作業療法士に転職しました。作業療法士になって初めての仕事で、ご老人のリハビリを行いました。リハビリが終わった時、その後老人が、「ありがとう」と言ってくれました。今まで、仕事は、こちらから感謝を伝えるものだと思っていましたが、自分が行ったことに感謝の言葉を伝えられた時にとっても感動し、なんて良い仕事なんだと思いました。

 井上 学 会員

医療、福祉の仕事は、そのもの自体が奉仕活動かと思います。そのため、私の部下は、採算度外視で、サービスをしてしまいます。給与なんていらないと本気で考えているスタッフもいるくらいです。そんなスタッフに売上げを意識させることはなかなか難しいことでした。

ロータリークラブに所属してから、「利他と利己の調和」を学びました。利己的で良いんだ！胸張って、売上げを作って良いんだ！ということを知り、スタッフ教育にこの概念を生かしていきました。その結果、ロータリークラブに所属してから年々売上げが向上し、今現在は、かなりの売上げを作ることが出

来ました。それも、支援サービスの向上も図りながらです。また、スタッフ教育に4つのテストも組み込んでいます。部下に指導の言葉を言う前にみんなのためになる決断か？と考え、言葉を修正しながら指導を行っています。そのことは、広い視野で考えた言葉となり部下に伝わっていき、部下も多様性を受け入れ、多様性に応えられる部下に育ってきたかと思っています。それが、結果として、地域貢献につながっているかと思っています。

まだまだ、職業奉仕の理念や実践を勉強中ですが、実践を積み重ね、より良い職業奉仕をしていきたいと思っています。

 海老沼 堯 会員



私がロータリーに入会して良かったのは、皆さんのお話が非常に上手なことです。特に感銘を受けたのは、江口紀久江

さんのご主人江口達司さん、人の心を捉える話し方をする、このことは、非常に勉強になりました。それと山崎清司パストガバナーのお話の仕方です。私の職業は、皆さんの前で話す機会というのは、普通の方よりは、あります。そんな中に於いて、江口達司さんのお話の仕方、山崎清司パストガバナーのお話の仕方、これは非常に学ぶべきものが多かったです。間の取り方、これは江口達司さんの話し方、人におやっと思わせる話し方をなさる。そう言った意味において、ロータリーに入って最初に感銘を受けたのは、このお二方の話し方です。

私どもの職業、お仕事、日ごろの生活は、日本国憲法に、職業選択の自由とありますが、私にはなかったと思います。大きくなったら、これを守って伝えてゆかなければならないとい

う。親が非常にうまいことを言いました。「何やってもよいよ、家を継がなくともよいよ」と言われましたけれども、自然と、あ、俺が継がないといけないのだろうなという気持ちになってきました。


子供のころは、海に出たかった。船に乗りたかった。当時の東京商船大学を受験しようと思ったら、及びませんでした。

しかし、海の勉強をする学校に4年間通いまして、いざ、海に出て世界中を回ってくると思いましたが、父も高齢となってきたため、神社を私が継がないといけないという気持ちに変わりました。卒業したらいずれ神社を継ごうと考えました。すると、人生楽しくなりました。4年間は、遊んで良いのだ。その後神社を継いで盛り立てれば良いと。したがって楽しい学生時代を過ごさせていただきました。

今、孫たちが大学生ですが、生活を見ていると、ちょっと可哀そうかなと思います。

私のときはもっともっと自由で、夏は海に行って帰って来ず、冬は山へスキーに行行って帰って来ず。親は余程心配したことでしょう。そんな生活を4年間過ごしました。



 海老沼 堯 会員

学校を卒業し、一般会社に就職しますけれども、何年かして、自分の一生について考えました。自分の人生って何だろうと考えたとき、人生を3つに分けようと思いました。最初の25年は勉学に励もう。次の25年は子育てに。次の25年、これは社会奉仕、職業を通じてやってゆこうと考えに至りまして、40歳の時から、神社の方に手出し、口出しをはじめまして、50歳で本当に神社にかかわるようになって、現在に至っております。

我々の職業の中で、神主の心得というのがあります。「世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと。」奉仕という言葉を中心として考えたことは、ありませんでしたけれども、神職になりまして、「世のため人のために奉仕し」という言葉をどういう意味かと考えるようになって、これ

を通じて職業を、奉仕につなげようとなりました。50歳になりまして、地域のいろいろな奉仕活動というのに参加させていただきました。約10年間。でもそのうちに、ロータリーに誘われまして、1年間待っていただき、まさに1年後、再び勧誘に、その時、森さんがいらっしやった。

ロータリーに入会すると、これまた奉仕という重みがありました。それから改めて、地域の奉仕から、世界への奉仕、人類への奉仕、又、日本のすべての人達への奉仕というものを、意識するように、考えるようになって。地域から脱却したのではないですけれども、一つワンランクアップしたような奉仕というものを考えるようになりました。本日は、この辺で閉じさせていただきます。



クラブ会報 IT 委員会より

石川 久 委員長

会員等の名前を語ったウイルスメールが増えてきました。念には念を入れじっくりと判断し、確実に本物と確認してから開封してください。



## 今後の予定

2021-2022 年度 RI シェカール・メータ会長 テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」  
 2021-2022 年度 古河東 RC 須永恵子会長 クラブスローガン「温故知新その先に」


例会日程	出席グループ	例会会場	内容
第 2049 回 3月29日(火)	—	—	第5週につき休会
第 2050 回 4月5日(火)	A・B	古河商工会議所 3F	第10回理事会 11時～ 会員卓話「ロータリーモーメント」 お弁当担当：お食事処 静
第 2051 回 4月12日(火)	B・C	古河商工会議所 3F	お客様卓話 茨城県議会議員 森田悦男先生(いばらき自民党) お弁当担当：ホテル山水
第 2052 回 4月19日(火) ➡ 10日(日)	希望者全員	利根川河川敷	第4分区利根川クリーン作戦
第 2053 回 4月26日(火) ➡ 21日(木)	希望者全員	埼玉県深谷市	渋沢栄一ゆかりの地 「論語の里」めぐり 担当：職業奉仕委員会

固定メンバー 9名		Aグループ 12名	Bグループ 12名	Cグループ 12名
会長	須永 恵子	秋庭 寛子	桑原 正信	板橋 孝司
幹事	田口 精二	井上 学	岡村 裕太	齊藤 愛
パストガバナー	山崎 清司	猪瀬 一也	小山 幸子	鶴岡 学
会長エレクト	小森谷 久美	植木 静子	齊藤 忠	福江 眞隆
会計	福田 優子	江口 紀久江	坂田 信夫	福富 好一
スマイル	大橋 みち子	海老沼 堯	佐藤 孝子	古谷 弘之
親睦委員長	福田 優子	小倉 郁雄	佐谷 道浩	星野 龍肇
クラブ会報・IT	石川 久	小林 好子	杉岡 榮治	三田 浩市
クラブ会報・IT	松井 実	柿沼 利明	須田 純一	三田 圭子
SAA	久野 茂	加藤 奨一	高橋 采子	森 敏夫
		栗田 吾郎	武澤 郁夫	山腰 すい
		松本 幸子	大谷 祥寛	山室 和徳


新井和雄 地区ガバナー スローガン 「Think Globally, Act Locally」(地球の未来を思い 地域社会に貢献しましょう)

### 地区行事等

4/10(日)	第4分区利根川クリーン作戦	4/24(日)	地区研修・協議会
4/14(木)	地区大会記念ゴルフ	5/7(土)・8(日)	地区大会

 例会を欠席する時は前日までに SAA までご連絡ください。

SAA：久野茂 [e-mail] shigeru.kuno@gmail.com [電話] 090-3234-0078

 原稿の送付先は 石川久まで [e-mail] suzukiyonezo@bz03.plala.or.jp 又は [FAX] 0280-22-6606

創 立：1982年(昭和57年7月6日) URL：<http://www.kogaeast.jp> 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時：火曜日(12:30～13:30) 例会場：古河商工会議所 3F(古河市鴻巣 1189-4 電話:0280-48-6000 FAX:0280-48-6006)

文 責：古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会 [石川・松井・松本・齊藤(愛)]